

しおり①

地域資料のデジタルアーカイブ

2021年度～2022年度
信州上田学事業

「地域資料の デジタルアーカイブ化」

「子どもから高齢者まで、
幅広く学べる地域資料の
デジタル化」に取り組みました。
(裏面参照)

◆2021年度 制作
地域の貴重な資料・道具など、
当時を知る方々のお話も交えて
記録に残し、地域資料をデジタル
アーカイブ化しました。

◆2022年度 公開
公開の範囲は関係機関と
調整を行い、許諾が得られた
データについて公開しました。

信州上田学は、
長野大学と上田市との
協働事業です。
上田地域の魅力発見、
課題解決に取り組みます。



地域パートナー募集中



長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp

QRコードから
デジタル資料館へ行ってみよう

①塩尻小デジタル資料館



- ①塩尻小デジタル資料館
塩尻小学校郷土資料館の道具や資料などを
デジタルアーカイブ化

②山本鼎の部屋アーカイブ



- ②山本鼎の部屋アーカイブ
神川小学校の山本鼎先生の部屋に展示され
ている昭和の児童画、山本鼎先生の資料、
農民美術の作品などをデジタルアーカイブ化

③上田自由大学デジタル資料館



- ③上田自由大学デジタル資料館
長野大学附属図書館に寄贈された上田自
由大学に関連する貴重な資料などをデジタル
アーカイブ化

④藤本蚕業デジタル資料館



- ④藤本蚕業デジタル資料館
藤本蚕業歴史観に保存されている蚕種製造
にかかわる資料をデジタルアーカイブ化

制作監修
長野大学企業情報学部
教授 前川道博



しおり②

塩田平ため池「舌喰池いきもの看板」制作

2021年度信州上田学事業

塩田平ため池 「舌喰池いきもの看板」制作

里山再生学ゼミでは、2015年からの7年間、塩田平ため池群を利用する水鳥の調査・研究を行ってきました。この研究成果を可動式看板にまとめました。

看板イメージ (一部)



(板面サイズ縦横：1m×2m)
可動式看板は、イベントなど
様々なシーンで活用

信州上田学は、
長野大学と上田市との
協働事業です。
上田地域の魅力発見、
課題解決に取り組みます。



地域パートナー募集中



長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp

看板を見る▶



舌喰池は、塩田平の中でも池と植生の面積が広く、水鳥の種の多様性が高いため池です。



初夏の舌喰池



カルガモ

いきもの看板を活用した取り組み

- 2022年3月25日
舌喰池で水鳥観察会を開催
看板を活用して、舌喰池で
観察される鳥類について解説
- 2022年夏
公民館展示のため看板貸出

制作監修
長野大学環境ツーリズム学部
教授 高橋一秋

舌喰池いきもの看板実物写真
貸し出し期間以外は、大学に展示



しおり③

野倉別所地区「里山絵図」作成



古い観光地図を参考に 和テイストで斬新な絵図を作成

長野大学の学生たちが、里山歩きなどを通して、野倉別所地域の歴史や文化、地理などを学び、地域の魅力を発見し、愛着を感じたポイントを絵地図に落とし込みました。

里山絵図を見て 里山の魅力スポットを巡ろう！

現在の日本遺産*
「龍といきるまち」を表現しました。
*信州上田・塩田平は日本遺産に認定されました。
(野倉別所地区は塩田平奥に位置します)

制作監修
長野大学環境ツーリズム学部
教授 古田睦美

信州上田学は、
長野大学と上田市との
協働事業です。
上田地域の魅力発見、
課題解決に取り組みます。

地域パートナー募集中

長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp



絵図全体イメージ (A3横)
八つ折り、ポケットサイズ



しおり④

記録集『若者たちへの伝言』作成

2022年度信州上田学事業
記録集
『若者たちへの伝言』作成

記録集を見る ▶

長野大学山浦ゼミの学生たちが、太平洋戦争を生きた人々から日常生活の体験エピソードを聞き取り、市内の戦争遺跡を調査し、記録集「若者たちへの伝言」を作成しました。

信州上田学は、長野大学と上田市との協働事業です。上田地域の魅力発見、課題解決に取り組みます。

地域パートナー募集中

長野大学地域づくり総合センター
 renkei@nagano.ac.jp

◆第1部 聞き取り調査まとめ



学生たちが、戦争体験者に直接お話を伺いました。

◆第2部 上田市内の戦跡調査



上田市内の戦跡や旧飛行場跡や戦争に関連のある場所や建物を取材・調査しました。

◆第3部 調査の振り返り・まとめ 1年の取り組みの振り返り

記録集を活用した取り組み

上田市内の中学で戦争を語り継ぐ活動を行いました。

制作監修
 長野大学社会福祉学部
 教授 山浦和彦

記録集『若者たちへの伝言』 見開きイメージ

「英語は敵国のことば」だから

基本データ
 ● 著者 三浦和彦さん (94歳)
 住所 上田市津野在住
 ● 聞き取り日 2022年6月3日
 ● 経典当時の仕事等 舞木小学校の先生
 ● キーワード 自由

Q 経典当時ほどで伺えていましたか？
 A 青木村小学校の先生をしていましたそうです。
 上田駅谷丘高校専攻科を卒業した。当時は教員免許なしで教諭になる人が多かった。渡辺さんもその1人。同校を卒業した友人の多くは名古屋の工場へ行った。授業の他にもさまざまなイベントやラリーで防火訓練なども行っていました。

Q 経典当時ほどで伺えていましたか？
 A 経典当時ほどで伺えていました。当時の谷丘高校の教員はとも可受けて気に入っていた。しかし、非常にすぐに身動きがとれるよう、朝服ではなくもんぺを履かなくてはならなかった。私生活でもスカートではなくもんぺを履かなくてはならなかった。他にも洋服はお見さんのお宮の

Q 当時の楽しみは何でしたか？
 A 英語を学ぶこと。しかし、敵国語だから思うように学べなかった。
 ○冬に常陸に友だちとスケートをしに行ったこと。靴スケートに履いていたが履音が高く手を入れることができなかった。その代わりに「靴スケート」を履いて滑った。下駄スケートはバランス感覚をとるのが難しかった。

Q 当時、戦争に対してどのような印象を抱いていましたか？
 A そもそもしっかりとした情報がありなかったため、戦争がどのようなものか全く知らなかった。後から日本が他の国に対して行って来たことがどれほど酷いものであったのか、戦争がこんなにも悲惨なものであったことを知り、戦争は間違っていたと思うようになった。

Q 経典の短らせはどのように短ったのか。短ったときどう感じましたか？
 A 自他をラジオ (ラジオ放送) で知った。戦争が終ったことを知り、ただただ嬉しかった。

Q 渡辺さんにとっての「平和」とは何ですか？
 A 今、何でもあって自由に好きなこと、やりたいことが思い通りにできること。

Q 今の私たちに伝えたいことは何ですか？
 A 歳まじい。自分の好きなことを自由に思いっきりやり、やりたいことはほとんどん精戦していい。

私からの返信
 渡辺さんのお話を拝読する中で、何度も私に「幸せね」「楽しかった」と言っていたのが強く印象に残った。戦争当時、字ばかりでも思うように学べなかったり、服装も差別されたりと、とにかく自由がなかった時代を過ごしてきた渡辺さん。渡辺さんの話を聞きながら私は自分自身の日々の暮らし方や考え方を振り返ってみたい。

今、私が自分のやりたいことや好きなことを自由にのびのびとできることは決して当たり前のことなんでしょうね。私も知らず、私も当たり前のように感じていたことは驚異なことだと思ふ。また、やってみないことがあっても後悔を感じて結局諦めずに行っていたことがいくつもあつたことに気がついた。自由に好きなこと、やりたいことができる環境があるかには、思う存分行動に移していきたい。それから私は、今まで歴史の教科書やテレビ番組等で戦争について学び、まだまだ知らないことばかりであるはずなのにどこか知っていた気がしていた。今、私が暮らしている上田も一足前進したかに思われる。だから、そして当時の地で実際に暮らして戦争を体験された方々の生の声を聞き、自分が今暮らしている地域に対する見方が変わった。また私たちが知らない上田の歴史や文化、歴史や、当時の人々やがどのような暮らしをしていたのか、どのような思いでいたのか、その一つ一つが、より地域のことを知りたいと思う。

自由に自分の夢を思い描き、自分の「好き」「やりたい」を思いっきりできることは当たり前のことなんでしょうね。次はとも幸せなこと。
 (文責 3年 工藤千佳)

しおり⑤

「棚田生物のヒントカード」作成

2022年度信州上田学事業

棚田生物
「Hint Cards」制作



（カード表面は共通）

稲倉地区の棚田の生物について
遊びながら学ぶ環境学習ツール
「棚田生物Hint Cards」を制作
しました。

信州上田学は、
長野大学と上田市との
協働事業です。
上田地域の魅力発見、
課題解決に取り組みます。



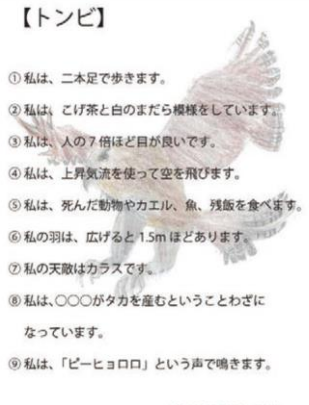
地域パートナー募集中



長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp

カードを活用した環境学習
イベントを支援し、里山や棚田
環境に関する普及啓発の推
進、棚田の価値・魅力・現状を
伝えることを目標とします。

【トンビ】




①私は、二本足で歩きます。
②私は、こげ茶と白のまだら模様をしています。
③私は、人の7倍ほど目が良いです。
④私は、上昇気流を使って空を飛びます。
⑤私は、死んだ動物やカエル、魚、残飯を食べます。
⑥私の羽は、広げると1.5mほどあります。
⑦私の天敵はカラスです。
⑧私は、○○○がタカを産むということわざに
なっています。
⑨私は、「ビーヒョロロ」という声で鳴きます。

令和4年度 豊殿小 1はん

カード裏面のイラストは、上田市
豊殿小学校の生徒さんが描い
てくれました。

カード裏面の絵柄は、24種類。
ブランクカードが6枚同梱。
自由に、ヒントやイラストを描い
てみよう！

Hint Cardsについて▶



制作監修
長野大学環境ツーリズム学部
准教授 満尾世志人

1セット31枚
(ヒントカード24枚+ブランクカード6枚
+説明カード1枚)



しおり⑥

武石の魅力を紹介するパンフレット作成

2022年度信州上田学事業

上田市武石の魅力を紹介するパンフレット制作

- ◆ともしびの里暦
- ◆武石のこと“めた”好きになる夢プログラム15選




両面カラー（6つ折り）

信州上田学は、長野大学と上田市との協働事業です。上田地域の魅力発見、課題解決に取り組みます。


地域パートナー募集中

長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp

ともしびの里暦を見ながら、武石のことを“めた”好きになる「夢プログラム15選」を実践してみよう！

パンフレットを見る▶ 

上田武石地域の活性化を目指す地域住民のグループと長野大学の松下ゼミの学生たちが協働して、武石地域の生活資源を発掘し、地域で共有する取り組みです。



ワークショップ形式で、整理された情報をデザイン化

パンフレットは、武石地域に全戸配布しました。

パンフレットを活用して地域の方々とともに住民主体のツーリズムを盛り上げていきます。

制作監修
長野大学環境ツーリズム学部
教授 松下重雄

パンフレット展開イメージ

◆ともしびの里暦



◆武石のこと“めた”好きになる夢プログラム15選



しおり⑦

タウン誌『てくてくうえだ』（信州上田学特別号）発行

2022年度信州上田学事業

タウン誌『てくてくうえだ』
（信州上田学特別号）発行



- ◎長大生厳選！
上田駅前グルメマップ掲載
- ◎市内の企業やそこで働く人たちのインタビューを掲載

信州上田学は、
長野大学と上田市との
協働事業です。
上田地域の魅力発見、
課題解決に取り組めます。



地域パートナー募集中



長野大学地域づくり総合センター
renkei@nagano.ac.jp

てくてくうえだ
信州上田学特別号を見る



長野大学鈴木ゼミでは「上田で働く人を通して上田の魅力を探究する」をコンセプトにタウン誌『てくてくうえだ』信州上田学特別号を発行しました。

上田地域の経済の活性化を促すと同時に、町おこしや地域の課題発見・問題解決を目指します。



タウン誌のコンセプト決めから、取材先の選定、インタビューの実施、記事作成や誌面作成、編集・校正まで学生たちが行いました。

制作監修
長野大学企業情報学部
教授 鈴木誠

タウン誌『てくてくうえだ』（信州上田学特別号） 目次イメージ

てくてくうえだ

- 01 上田駅前グルメマップ
長大生が選ぶ店はコレ！厳選10店
- 07 サントミュージゼ
芸術とふれあい、心育で育てる
- 11 上田映画
歴史を紡いできた劇場所に込める想い
- 19 上田信用金庫
最近様を大切に！上田の未来を創る
- 28 柳町屋[Co・LABO SHOP]
和菓子や店主 一家に一台DIY人間
- 34 古着屋DADA
自分のやりたいことを、楽しむ。
- 37 ゼミ紹介
- 39 大学紹介
- 46 編集後記



読者アンケート
皆様のご意見・ご感想お待ちしております。